

新宮山彦ぐるーぷ第2261回

行仙宿補給路に階段設置

◇実施日 10月29日(日)

晴後曇

◇参加者 梶野照雄、湯川一郎

2名

10月22日にモノレール延伸で付け替えた登山道を整備したが、レールを潜り尾根に上がる場所につけた段差の杭が深く打ち込めず、少し不安定な状態だった。高さは1.2mほどだが、下るとすぐにレールが待ち構えているので、少しでも安全な策をと思い階段を設置することにした。中前さんが持つてきてくれた足場板がまだ5枚ほど残っているので、これを階段の材料として使った。10月23日に大まかに切って持ち帰り、丸鋸で切り揃えた。



材料と工具を積み



角材を固定



下板に溝を彫る

午前9時、登山口に着くと奥に車が一台、階段横に自転車が一台中止していた。すぐに湯川君が着き、モノレールに階段材料や工具を積んで登りだす。工事箇所をちよつと過ぎてから停車し、荷物を降ろす。登山口から角材と丸太を切った桧板を持つてきた。



ここで昼食

完成

本日の参加者

22日に作られた段差を取り除き、角材を上部に、桧板を下部に、共に水平に設置した。上部、下部共に鉄杭で留めたが、30cmほど打ち込むことが出来た。右側の板を取り付け、踏み板の上と下を付ける。左の板を付けて踏み板の上下を固定した。踏み板は全部で5枚、奥行きは24cm、幅は60cmと少し広めにとった。角度は住宅の階段と同じ50度にした。

踏み板の取り付けはドリルが入りにくく、少し手間取ったが、一枚を残す所でお腹が空いてきたので昼食タイムにした。

食後は残りの一枚を取り付け、工具を片付けてモノレールで下山した。レール脇の工事なので300歩くらいしか歩いていない。

湯川君とは登山口で別れ、階段の加工で出た端材を小屋まで持って行った。モノレールで終点まで行って小屋迄往復、これでやっと3000歩になった。



行仙宿に着く

端材を小屋に置く

下山

小屋内外を点検、異常は無い。空の背負子を背負って下山した。

(記；梶野)

行動タイム

09：00 補給路登山口→09：34 階段設置場所 13：15→13：28 補給路
登山口 13：48→14：05 モノレール終点→14：20 行仙宿→14：43 モ
ノレール終点→15：05 補給路登山口